



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年8月7日 東

上場会社名 株式会社宇野澤組鐵工所 上場取引所  
 コード番号 6396 URL <http://www.unozawa.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宇野澤 虎雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 田村 博 (TEL) 03-3759-4191  
 兼経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の業績 (平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	956	74.2	△48	—	△47	—	△49	—
27年3月期第1四半期	549	△26.1	△50	—	△53	—	△54	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年3月期第1四半期	△4.48		—					
27年3月期第1四半期	△4.86		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	6,780	1,491	22.0
27年3月期	6,605	1,510	22.9

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 1,491百万円 27年3月期 1,510百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※28年3月期の期末配当予想は未定です。詳細は「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご確認ください。

3. 平成28年3月期の業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,160	15.7	70	—	60	—	40	—	3.62
通期	4,320	6.3	180	—	160	—	110	—	9.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無
- (3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	11,200,000株	27年3月期	11,200,000株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	150,384株	27年3月期	150,384株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	11,049,616株	27年3月期1Q	11,177,521株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想につきましては発表日現在の将来に関する見通し・計画に基づく予測が含まれており、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績が記載の予想数値と異なる場合があります。平成28年3月期期末の配当予想は未定であります。今後の業績等を総合的に勘案し配当額を決定次第、速やかに開示いたします。なお、上記業績額予想に関する事項は添付資料2ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6
4. 補足情報 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による経済政策や金融緩和策により、企業収益の改善や雇用・所得環境の改善傾向が続くなか、企業収益の改善等に支えられた国内投資回帰の動きや個人消費に持ち直しの兆しがみられるなど、国内景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、一部の国や地域における財政問題や政情不安、新興国経済の減速といった海外経済の不安要素もあり、先行き不透明な状況が継続しております。

当社を取り巻く環境としましては、設備投資が徐々に回復していくものと見込まれておりますが、自動車や通信事業者等の一部好調業種を除けば引き続き力強さに欠け、依然として厳しい環境が続いております。

このような経営環境のもと、当社の業績は売上高956百万円(前年同四半期比74.2%増)となりました。損益面におきましては、営業損失48百万円(前年同四半期は営業損失50百万円)、経常損失47百万円(前年同四半期は経常損失53百万円)、四半期純損失49百万円(前年同四半期は四半期純損失54百万円)となりました。

セグメント別の概況は以下の通りです。

#### 1. 製造事業

製造事業の売上高は819百万円となりました。一時的に出荷が落ち込んだ時期であった前年同四半期と比較すると大幅な増加となっておりますが、今期業績予想に対しましては概ね予定通りの進捗となっております。

損益面につきましては、セグメント損失147百万円(前年同四半期はセグメント損失147百万円)の計上となりました。売上高を製品別に示しますと、真空ポンプは505百万円(前年同四半期比260.1%増)、送風機・圧縮機は80百万円(前年同四半期比23.0%増)、部品および修理は234百万円(前年同四半期比10.7%増)の結果となりました。

また、輸出関係におきましては、北米向けが一時的に落ち込んだものの、ロシア向け案件でカバーし、売上高は92百万円(前年同四半期比89.0%増)となりました。

#### 2. 不動産事業

オフィスビル賃貸市場の底打ちにより、売上高は137百万円(前年同四半期比3.7%増)、セグメント利益99百万円(前年同四半期比2.0%増)の計上となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間の財政状態は、前事業年度末と比べ、総資産は174百万円増加し6,780百万円、負債は193百万円増加し5,288百万円、純資産は18百万円減少し1,491百万円となりました。総資産の増加は、受取手形及び売掛金が106百万円減少しましたが、たな卸資産が136百万円、現金及び預金が84百万円増加したこと等が主要因です。

負債の増加は、支払手形及び買掛金が118百万円、短期借入金が48百万円増加したのが主要因です。

純資産の減少は、利益剰余金が49百万円減少、その他有価証券評価差額が30百万円増加したことが要因です。この結果、自己資本比率は前事業年度末比0.9%低下し、22.0%となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は現在の事業環境下、入手可能な情報に基づき最善の経営方針を立案するよう努めておりますが、景気の先行きは不透明であり、当社を取り巻く事業環境は厳しい状況が続くものと予想されます。このような状況下、受注の確保・原価低減及び諸経費の削減に重点を置いた諸施策を実施するとともに、業務の質を高め、諸施策を迅速かつ確実に遂行し、環境変化に強い利益体質を確立するよう努めてまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,638,983	1,723,424
受取手形及び売掛金	1,575,450	1,468,860
たな卸資産	673,735	809,766
その他	26,453	25,399
流動資産合計	3,914,623	4,027,451
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,485,946	1,496,447
土地	631,643	631,643
その他(純額)	94,477	103,479
有形固定資産合計	2,212,067	2,231,570
無形固定資産	5,437	5,036
投資その他の資産		
その他	482,234	525,136
貸倒引当金	△9,103	△9,103
投資その他の資産合計	473,130	516,032
固定資産合計	2,690,635	2,752,639
資産合計	6,605,258	6,780,091
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	874,766	992,951
短期借入金	1,079,969	1,125,753
未払法人税等	2,204	3,638
賞与引当金	63,048	19,296
その他	265,028	297,973
流動負債合計	2,285,016	2,439,612
固定負債		
長期借入金	1,821,983	1,830,733
退職給付引当金	486,846	462,702
役員退職慰労引当金	127,120	123,250
その他	373,755	431,915
固定負債合計	2,809,704	2,848,600
負債合計	5,094,721	5,288,212
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	785,000	785,000
資本剰余金	303,930	303,930
利益剰余金	252,475	203,009
自己株式	△28,785	△28,785
株主資本合計	1,312,621	1,263,155
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	197,916	228,722
評価・換算差額等合計	197,916	228,722
純資産合計	1,510,537	1,491,878
負債純資産合計	6,605,258	6,780,091

## (2) 四半期損益計算書

## 第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	549,350	956,910
売上原価	443,347	851,977
売上総利益	106,002	104,933
販売費及び一般管理費	156,384	153,195
営業損失(△)	△50,382	△48,261
営業外収益		
受取利息	212	128
受取配当金	3,849	3,883
受取保険金	-	2,500
その他	5,529	5,685
営業外収益合計	9,592	12,197
営業外費用		
支払利息	11,040	10,515
その他	1,270	578
営業外費用合計	12,310	11,094
経常損失(△)	△53,100	△47,158
特別損失		
その他	0	-
特別損失合計	0	-
税引前四半期純損失(△)	△53,100	△47,158
法人税等	1,189	2,307
四半期純損失(△)	△54,289	△49,465

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期会計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	製造事業	不動産事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	416,963	132,387	549,350
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	416,963	132,387	549,350
セグメント利益又は損失(△)	△147,857	97,474	△50,382

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額(営業損失)との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	製造事業	不動産事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	819,675	137,235	956,910
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	819,675	137,235	956,910
セグメント利益又は損失(△)	△147,609	99,347	△48,261

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額(営業損失)との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。



## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

(セグメント別売上高)

(単位：千円)

製 造 事 業	前第1四半期 平成26年4月1日から 平成26年6月30日まで		当第1四半期 平成27年4月1日から 平成27年6月30日まで		対前期比増減	
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	金 額	増減率%
製品別						
真空ポンプ	140,317	25.5	505,326	52.8	365,009	260.1
送風機・圧縮機	65,077	11.8	80,037	8.4	14,960	23.0
部品及び修理	211,568	38.5	234,311	24.5	22,742	10.7
そ の 他	0	0.0	0	0.0	0	0.0
製造事業計	416,963	75.9	819,675	85.7	402,712	96.6
内(輸出品※)	(49,046)	(8.9)	(92,691)	(9.7)	(43,644)	(89.0)
不 動 産 事 業	132,387	24.1	137,235	14.3	4,848	3.7
合 計	549,350	100.0	956,910	100.0	407,560	74.2

(注) ※の輸出品構成比率は売上高合計に対するものです。

(製造事業受注高及び受注残高)

(単位：千円)

製 造 事 業	受 注 高			受 注 残 高		
	前第1四半期	当第1四半期	対前期比増減	前第1四半期	当第1四半期	対前期比増減
製品別						
真空ポンプ	494,966	512,567	17,600	603,642	483,516	△120,125
送風機・圧縮機	210,169	187,205	△22,964	424,956	379,411	△45,545
部品及び修理	240,815	260,872	20,056	122,934	137,616	14,682
そ の 他	6,330	3,300	△3,030	6,330	10,800	4,470
合 計	952,281	963,945	11,663	1,157,862	1,011,344	△146,518